

記入例

※整理番号
 ※受付年月日 令和 . .

監護相当・生計費の負担についての確認書

奥州市長 殿

私は、以下に記載する者（注）について、監護に相当する日常生活上の世話をし、生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。
 申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を添付して提出してください。

注 18歳に達する日以後の最初の3月31日を経過した後から22歳に達する日以後の最初の3月31日まで

4月以降も引き続き監護、養育する
 ・高校卒業年代（H18.4.2～H19.4.1生まれ）
 ・短大、専門学校等卒業年代（H15.4.2～H18.4.1生まれ）
 の子についてご記入ください。
 ※個人番号も忘れずにご記入ください。

1	ふりがな 氏名	性別	生年月日	住所	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期 （学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）
	おうしゅう いちろう 奥州 一郎	男・女	平成 令和 16年 7月 1日	奥州市〇〇×丁目×番地	998765432100	子	学生・無職・ その他			1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）
	おうしゅう はなこ 奥州 花子	男・女	平成 令和 18年 10月 20日	〇〇県〇〇市〇〇×丁目×番地	778901234512	子	学生 ・無職・その他	△△大学	令和 11年 3月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）
3	ふりがな 氏名	性別	生年月日	住所	個人番号	続柄	職業等（いずれかに○）※	通学先（学生の場合のみ）	卒業予定時期 （学生の場合のみ）	申立人による監護相当の状況（いずれかに○）	申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）
		男・女	平成 令和 年 月 日				学生・無職・その他		令和 年 月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）	1.生活費（食費、家賃等） 2.学費

就職や進路未定の場合は「その他」に○をしてください。

生計費の負担がない場合は、多子加算のカウント対象にはなりません。子が自立して生計を立てている場合は「3.その他」に○を付け（ ）内に「生計負担なし」とご記入ください。

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 7年 3月 〇日

【申立人】（児童手当の請求者・受給者）
 住所 **奥州市〇〇×丁目×番地**
 氏名 **奥州 太郎**

18歳年度末から22歳年度末までにある子を第三子加算の算定対象とするために必要な書類です。
 18歳以下の児童手当の支給対象児童と、18歳年度末を経過してから22歳年度末まで算定児童を含めて「3人以上」の場合にご提出ください。
 ※記載内容に変更があった場合には再提出が必要です。

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。